

Flashing 水切り/施工

創業時より、一体形状のアルミ製水切りを開発し、提供してきたベルックス。

どんな屋根材とも自然になじむデザインと、卓越した排水性・水密性は70年以上にわたる改良の積み重ねの成果です。

今またトリプル防水構造の開発によって、性能も施工性も一段と高まりました。

スレート用水切り

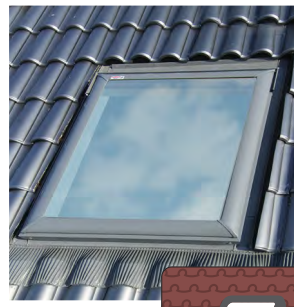
主にスレート、カラーベストなどの屋根材(厚さ8mm以下)に最適です。



スレート用水切り

瓦用水切り

主に波瓦、S瓦、和瓦等、起伏のある屋根材(厚さ8mm以上)に最適です。



瓦用水切り

鋼板用上部水切り

6寸未満推奨、主に瓦棒葺き、横一文字葺きなど積雪地以外の起伏のない鋼板屋根材に最適です。



鋼板用上部水切り

鋼板掴みアダプター

6寸以上推奨、棟包みやジャンプ台と絡めて、現場で板金をかしめる施工に最適です。(VS用は別売)



鋼板掴みアダプター

横連窓用



縦連窓用



田の字連窓用



積雪地用スノープレート



多雪区域では、天窓上部や周辺部に雪が溜まらないように施工してください。同区域の鋼板屋根には、天窓上部にジャンプ台(スノープレート)を施工してください。

※現場での別途工事になります。ご注文時には、『ジャンプ台施工』とご指定ください。

フラットキット(オプション)

フラットな屋根でも、天窓が取り付け可能になる水切りキットです。

※立ち上げ台は現場での別途工事になります。

ECR

独自の寸法で立ち上げ台を作成する場合(立ち上げ台上部まで別途防水が必要)



ECB

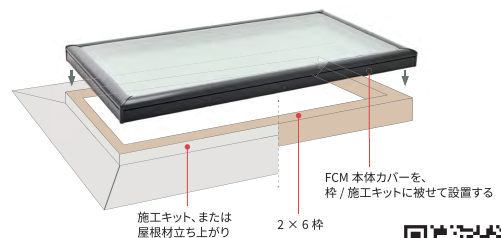
弊社指定寸法の立ち上げ台を作成する場合(立ち上げ台上部を笠木状にカバー)

※スカイビューシリーズのみ。
※M25、M02、S25は現場で加工が必要。



フラットシリーズ

FCMフィックスタイプの施工キットについては、施工説明書をご覧ください。

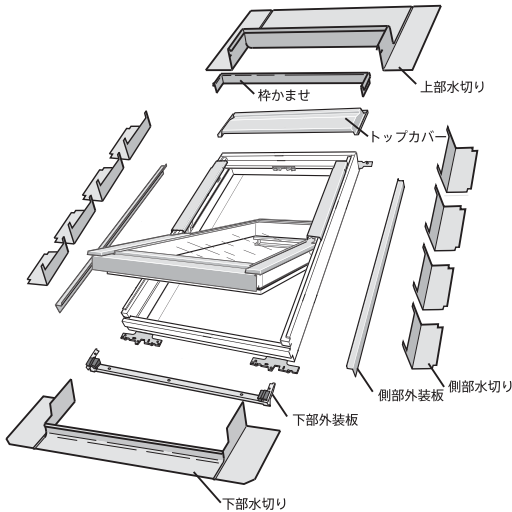


www.velux.co.jp



Flashing 水切り/施工

スレート用水切り姿図 EDL



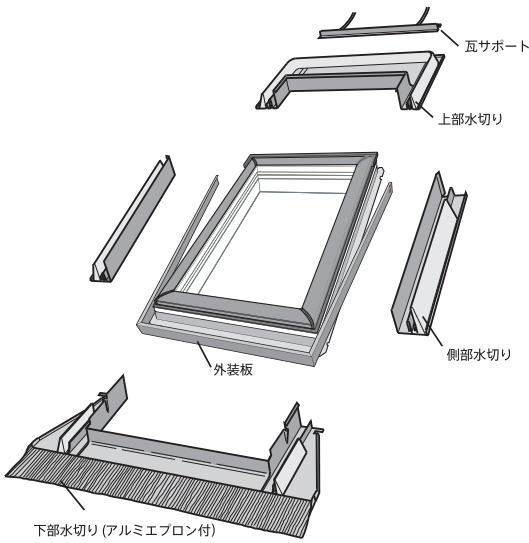
専用水切りは、屋根材に応じてご用意があります。建物の外観に美しく調和し、取付工事はコーキングがいらす短時間でOK。耐候性に優れた塗料を電着塗装したアルミニウム製で、高い防水性を誇ります。

取り付け作業の流れ

- 1 野地開口
- 2 本体取り付け
- 3 ルーフィング施工
- 4 スレート施工 (天窗下端まで)
- 5 下部水切り取り付け
- 6 側部水切りとスレートを交互に葺く
- 7 外装板の取り付け
- 8 上部水切り取り付け
- 9 天窗上部のスレートを葺く



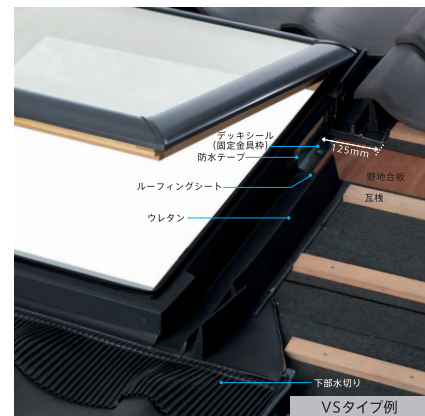
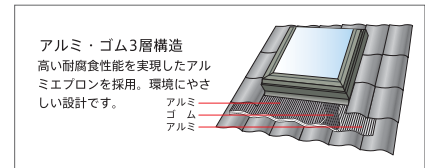
瓦用水切り姿図 EDW



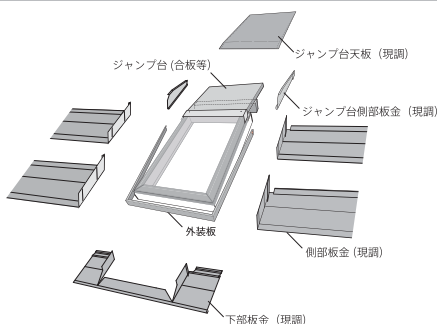
・延長エロンを使用するとあらゆる瓦割りに対応できます。

取り付け作業の流れ

- 1 野地開口
- 2 本体取り付け
- 3 ルーフィング施工
- 4 瓦葺き
- 5 瓦施工 (天窗下端まで)
- 6 下部水切り取り付け
- 7 側部水切り取り付け
- 8 外装板の取り付け
- 9 上部水切り取り付け
- 10 瓦施工 (天窗周り)

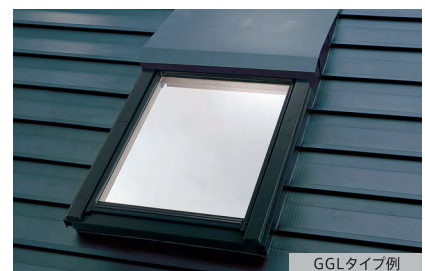


積雪地用鋼板横葺き施工参考例



取り付け作業の流れ

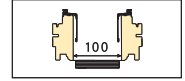
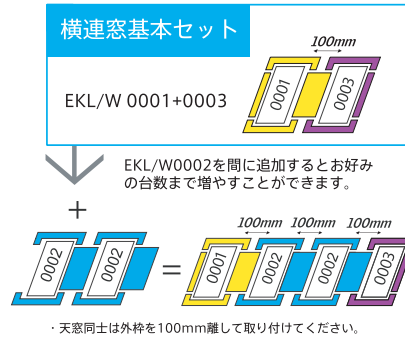
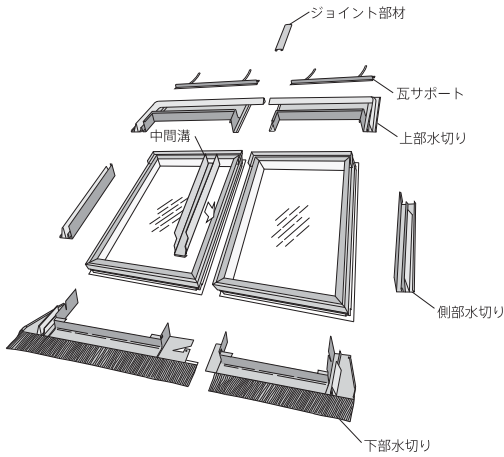
- 1 野地開口
- 2 本体取り付け
- 3 ジャンプ台施工
- 4 ルーフィング施工
- 5 板金施工 (下部、側部)
- 6 外装板の取り付け
- 7 板金施工 (上部)



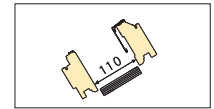
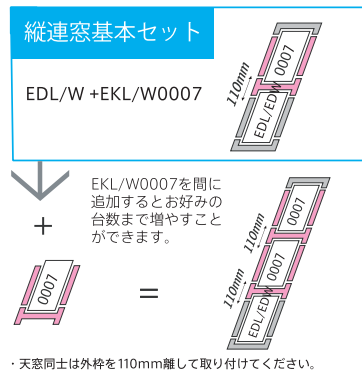
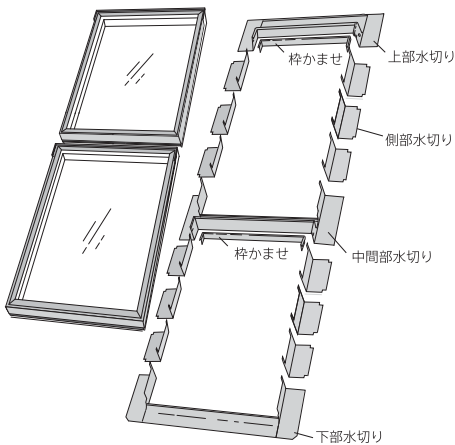
・建築地の積雪状況を考慮の上、天窗上部や周辺部に雪が溜まらないように施工してください。また、本体上部に別途ジャンプ台を施工してください。

Flashing 水切り/施工

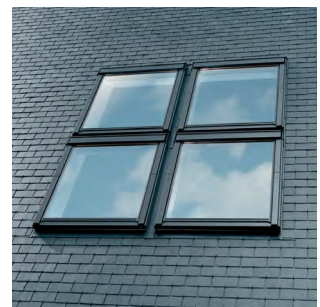
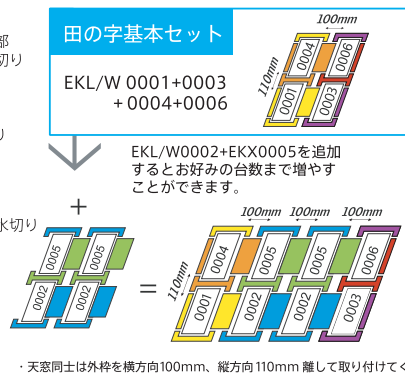
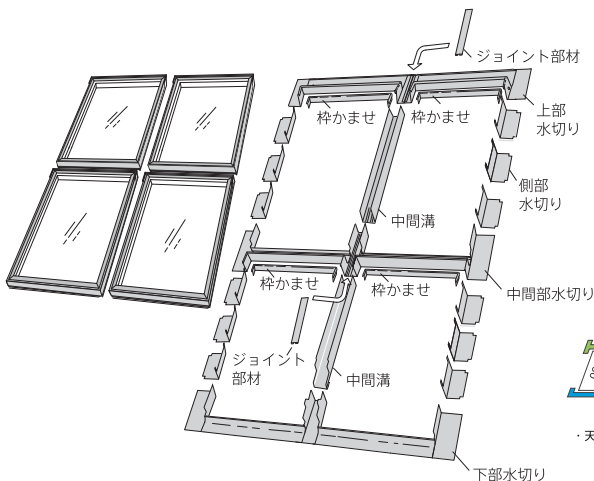
横連窓姿図 (瓦用参考例)



縦連窓姿図 (スレート用参考例)

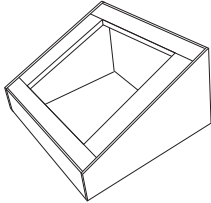
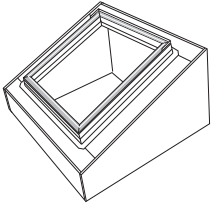
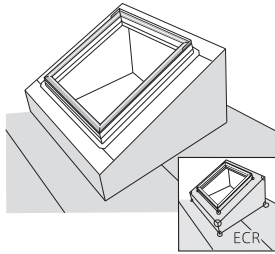
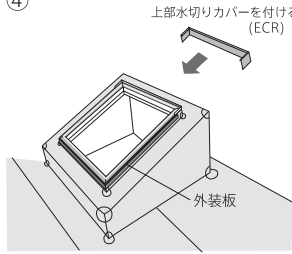
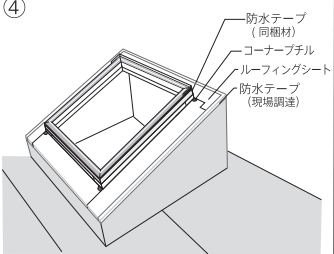
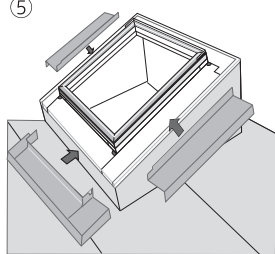
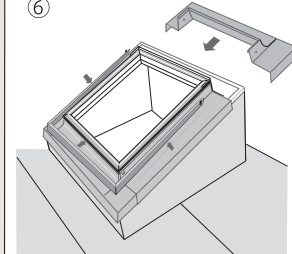
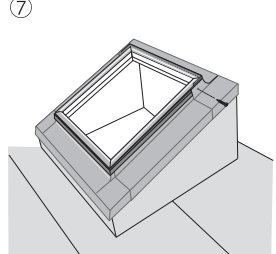


田の字連窓姿図 (スレート用参考例)



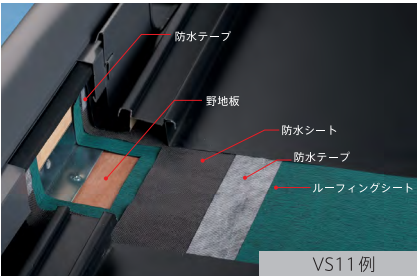
Flashing 水切り/施工

陸屋根施工参考例 ECR/ECB

ECR/ECB 共通			ECRのみ
<p>①</p>  <p>立ち上げ台を現場で作成します。ECBの場合、組み立て図面に従って規定寸法を守り、作成してください。</p>	<p>②</p>  <p>天窗本体を立ち上げ台に取り付けてください。本体の取り付け方、カバーの外し方等は本体同梱の施工説明書をご参照ください。</p>	<p>③</p>  <p>屋根材を立ち上げ台上端まで立ち上げてください。ECRの場合は、防水材を天窗本体まで立ち上げて防水処理します。</p>	<p>④</p>  <p>立ち上げ台から天窗本体にかけてシート防水等を立ち上げて防水処理ができる場合は、ECR (上部カバー) で納めることができます。外装板を取り付けてから、ECR (上部カバー) を納めてください。</p>
ECBのみ			
<p>④</p>  <p>防水テープ (同梱材) コーナーフチル ルーフィングシート 防水テープ (現場調達)</p> <p>本体と同梱されている施工説明書に従って、天窗周りにルーフィングシートを立ち上げ、各コーナーにコーナーフチルを付けてください。本体とルーフィングシート (四方) 及びルーフィングシートと屋根材のとりあいに防水テープを貼ってください。</p>	<p>⑤</p>  <p>下部及び側部専用水切りを天窗本体に釘で固定してください。</p>	<p>⑥</p>  <p>外装板を本体に取り付けてください。(本体と同梱されている説明書に従ってください。) 上部専用水切りを上部外装板に被せてください。</p>	<p>⑦</p>  <p>上部専用水切りを図のようにビスで本体に固定してください。</p>

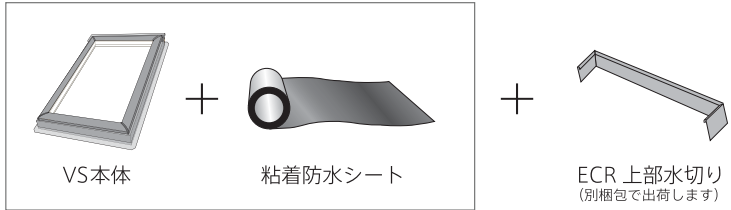
※立ち上げ台は、専用の水切りが納まるように、各規定寸法をお守りください。勾配は、2.5寸以上としてください。

緩勾配キット及び粘着防水シート施工例 VS11



VS11例

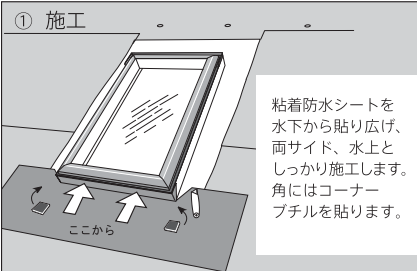
緩勾配キット VS11 ※FSタイプには使用できません



VS本体 + 粘着防水シート + ECR 上部水切り (別梱包で出荷します)

※2寸~2.5寸銅板屋根限定

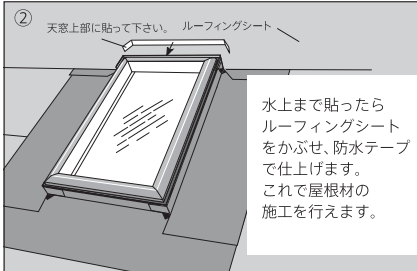
① 施工



粘着防水シートを水下から貼り広げ、両サイド、水上としっかり施工します。角にはコーナーフチルを貼ります。

ここから

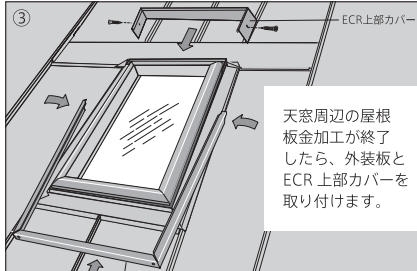
②



天窗上部に貼って下さい。ルーフィングシート

水上まで貼ったらルーフィングシートをかぶせ、防水テープを仕上げます。これで屋根材の施工を行います。

③



ECR上部カバー

天窗周辺の屋根板金加工が終了したら、外装板とECR 上部カバーを取り付けます。

※北海道及び多雪地域での使用はできません。